

みどりの街づくり賞

港区環境リサイクル支援部 環境課
港区芝公園1-5-25 / 電話：03-3578-2330

景観街づくり賞・区民景観セレクション

港区街づくり支援部 都市計画課
港区芝公園1-5-25 / 電話：03-3578-2204

2019 Minato City

港 区

みどりの街づくり賞

景観街づくり賞

区民景観セレクション

令和元（2019）年度 受賞施設等



令和元年（2019年）10月発行 発行番号 31118-5611

目次

港区みどりの街づくり賞 受賞施設	01
赤坂インターシティAIR パークコート赤坂檜町ザタワー 浜松町エクセレントビル G-BASE田町 パークコート青山 ザタワー	
審査会委員総評（港区みどりの街づくり賞）	06
港区景観街づくり賞 受賞施設	07
赤坂インターシティAIR G-BASE田町	
港区景観街づくり賞 奨励賞 受賞施設	09
パークコート青山 ザタワー	
港区景観街づくり賞 特別賞 受賞団体	10
港区アドプト・プログラムー道路・公園のボランティア活動	
審査会委員総評（港区景観街づくり賞）	11
港区区民景観セレクション 受賞景観	12
御成門交差点付近から見る東京タワー《グランプリ》 増上寺と東京タワー レインボーブリッジから見る東京タワー 品川シーズンテラスから見る東京タワー 増上寺北側の通りから見る東京タワー 考寿院へ向かう石段から見る東京タワー 区役所前の並木道 本氷川坂へ向かう通り 桜田通り沿いの明治学院大学 芝浦アイランドの船着場	
審査会委員総評（港区区民景観セレクション）	16



港区みどりの街づくり賞とは

港区では、昭和54年度から建築計画に伴う緑化計画書の提出を義務付け、緑化の指導を行ってきました。緑豊かな都市づくりには、公共の緑とともに、民間施設の緑化が重要な役割を果たしています。

「港区みどりの街づくり賞」は、優れた緑化計画を行い、その緑地を維持している区民や事業者の緑化施設を表彰し、地域緑化への協力に感謝を示すとともに、さらなる民間緑化の発展を願って、平成16年度に創設しました。

対象

原則として、前々年度に完了した建築計画に伴う緑化施設で、港区みどりを守る条例施行規則の緑化基準を満たしているもの

審査・選定基準

学識経験者、都市緑化に造詣の深い区民及び環境リサイクル支援部長で組織する港区みどりの街づくり賞選定審査会が、以下の選定基準を基に決定します。

- ① 周辺の景観と調和し、優れたデザインであること / ② 維持管理が適切に行われていること / ③ 自然環境の保護と再生に努めていること / ④ 建築物と植栽地がバランスよく配置されていること / ⑤ 既存樹木を活用していること / ⑥ あらゆる生きものが、相互に関わり合いながら生きられる生物多様性に配慮した植栽計画となっていること / ⑦ 在来植物を取り入れていること / ⑧ 地域社会とのつながりを持ち、地区への貢献度及びみどりの公開性が高いこと / ⑨ 先進的又は総合的にレベルの高い緑化技術を取り入れ、新しい緑の創出に創意工夫がなされていること

賞の種類

みどりの街づくり賞 5点

詳細は毎年度選定審査会で決定します。

港区景観街づくり賞とは

港区では、平成21年に港区景観条例を施行し、同年に港区景観計画を策定しました。これらの条例・計画に基づき、建築物の建築等の際に区との景観協議を義務付け、助言・指導を行っています。

「景観街づくり賞」は、良好な景観の形成に関して功績のあった民間の施設や活動を表彰することで、皆さんの景観に対する意識の向上を図るとともに魅力ある街づくりを推進するため、平成23年度に創設しました。

港区景観街づくり賞・景観街づくり賞奨励賞

対象

区と景観協議を行った民間施設のうち、前々年度に完了報告書が提出されたもの

審査・選定基準

港区景観審査会委員、港区景観アドバイザー及び街づくり支援部長で組織する港区景観表彰選定審査会が、以下の選定基準を基に決定します。

- ① 周囲からの見え方に配慮があり、周辺の街並みと調和しているもの / ② 建築物、植栽等がバランスよく配置されており、憩いと安らぎを創出しているもの / ③ 地域特性を生かしており、まちの魅力の向上に貢献しているもの / ④ 地域社会とのつながりを持ち、区民等への貢献が高いもの / ⑤ 都市景観の創造に先進的な役割を果たしているもの

その他

特に優れていると認める施設を「景観街づくり賞」に、より一層の良好な景観形成を期待する施設を「景観街づくり賞奨励賞」に選定し、各受賞者に記念品を贈呈

港区景観街づくり賞特別賞

港区景観条例による届出対象以外の、良好な景観形成に功績のあった施設や活動に対し、感謝の意を込めて表彰します。

港区区民景観セレクションとは

「区民景観セレクション」は、区民が誇り、愛着を持つ景観を募集・表彰することで、良好な景観の周知・共有を図るため、平成29年度に創設しました。

対象

「区民が誇り、愛着を持つ街並みその他の景観」として区民等により応募されたもの

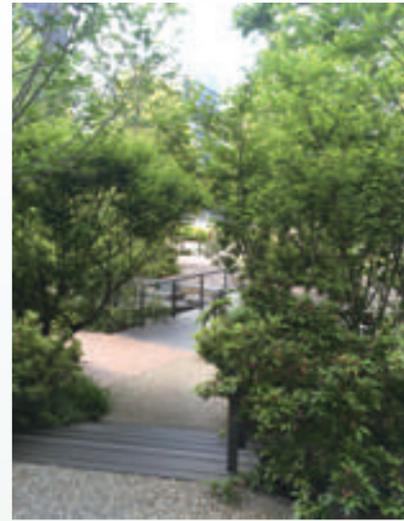
審査・選定基準

景観表彰選定審査会が、以下の選定基準を基に決定します。

- ① 地域性が感じられるもの / ② 波及性があるもの / ③ 発見性があるもの

その他

グランプリを選び、その応募者に記念品を贈呈



港区みどりの街づくり賞受賞施設

赤坂インターシティAIR

- 事業主: 赤坂一丁目地区市街地再開発組合
(事業協力者: 日鉄興和不動産株式会社)
- 設計者: 株式会社日本設計
- 施工者: 株式会社大林組 / 大林道路株式会社 (土木)
株式会社日比谷アメニス (植栽) / 株式会社小林石材工業 (石工事)
株式会社ベルックス (水景)
- 所在地: 赤坂一丁目8番1号
- 施設用途: 事務所、共同住宅、会議施設、店舗等
- 敷地面積: 16,088.32㎡ ● 緑化面積: 6,388.26㎡
- 接道部緑化延長: 360.28m ● 緑化面積率: 40%
- 接道部緑化率: 70%

選定にあたっての評価コメント

都市部に増えている超高層建築の足元をやさしく包む“緑”の事例として、良き見本の一つとなるのがこの作品であろう。一本一本の樹木や草木類が、生気にあふれて生き生きとしている。植物一本一本が演奏者となって見事なハーモニーを演ずるオーケストラに通じるものがある。そこに至るには、造園設計に始まって現場施工者の熱意、更には工事完成後の育成担当者の生きものを見る鋭い眼差しと自然物への愛着等が寄り集まったの成果と考えられる。審査のためここを訪れたとき見えてきたのは、植物達の枝葉の先端まで生き生きとしていて水々しく、歩道を歩いていると植物からのフィトンチッドを胸一杯に吸い込む恩恵を受けている気持ちにさせてくれた。また両側から迫る緑の恩恵を与えてくれる歩道は十分に公開性が確保され、好感が持てた。緑に係わる仕事は、竣工式が起工式でも言うて過言ではない。時の流れを大切に息の長いことを肝に銘じたいものだ。



港区みどりの街づくり賞受賞施設

パークコート 赤坂檜町ザタワー

- 所有者: パークコート赤坂檜町ザタワー管理組合
- 設計者: 株式会社日建設計
株式会社日建ハウジングシステム
デザイン監修 隈研吾建築都市設計事務所
- 施工者: 大成建設株式会社東京支店
造園 西武造園株式会社
- 所在地: 赤坂九丁目4番1号、4番2号
- 施設用途: 共同住宅、公益施設
- 敷地面積: 4,656.24㎡
- 緑化面積: 1,122.54㎡
- 接道部緑化延長: 164.33m
- 緑化面積率: 24% ● 接道部緑化率: 73%



選定にあたっての評価コメント

平成17年に設立された「赤坂九丁目北地区まちづくり懇談会」から13年、赤坂九丁目北地区第一種市街地再開発事業の完成品。木造住宅が密集する地区で急傾斜地崩壊危険箇所と言われた場所が見違えるような空間に変貌。檜町公園、東京ミッドタウンにつながる緑のネットワークは、都市らしい魅力的な空間を形成するに十分で、緑地と通路は、高低差をうまくとらえ、ダイナミックで親しみやすい空間を創出している。



港区みどりの街づくり賞受賞施設

浜松町エクセレントビル

- 事業者: カサイホールディングス株式会社
- 所有者: カサイホールディングス株式会社
株式会社合田工務店
- 設計者: 笠井設計株式会社
- 施工者: 株式会社合田工務店
造園 1F外構 株式会社日比谷アメニス
1F壁面緑化、7・8Fバルコニー 共同カイツック株式会社
- 所在地: 浜松町二丁目6番5号
- 施設用途: 事務所、物販店舗、飲食店、専用住宅
- 敷地面積: 572.61㎡
- 緑化面積: 81.86㎡
- 接道部緑化延長: 19.91m
- 緑化面積率: 14% ● 接道部緑化率: 38%

選定にあたっての評価コメント

周辺は接道緑化が少ない地域である。この建物の緑化も面積が広いものではないが、思いの詰まった緑化を地域に開放している。事業者の出身地の県木をシンボルとして植栽。その他、ハーブや四季変化のある緑化が見られる。ここでの評価の一番は、この建物に関わっている人が皆、この緑を愛していること。この緑が地域の人にも心地良い環境であり、これからも美しく管理された緑が維持できることに期待します。

港区みどりの街づくり賞受賞施設

G-BASE田町

- 建築主: 三井不動産株式会社
清水建設株式会社
- 設計者: 清水建設株式会社一級建築士事務所(設計)
佐藤尚巳建築研究所(デザイン監修)
FIELD FOUR DESIGN OFFICE
(インテリア・ランドスケープ)
- 施工者: 清水建設株式会社
- 所在地: 芝五丁目29番11号
- 施設用途: 事務所、店舗、駐車場
- 敷地面積: 2,331.34㎡
- 緑化面積: 557.11㎡
- 接道部緑化延長: 67.04m
- 緑化面積率: 24% ● 接道部緑化率: 63%

選定にあたっての評価コメント

「大樹と林床」をコンセプトに挙げ、大樹を建物に林床をランドスケープになぞらえているが、林床をいうならば、その対語としては森か、林だろう。建物を単一の大樹になぞらえるのは無理があるが、ビル街に生まれた不整形でしかも無機質な空間に「林床」という言葉を与えてデザインを検討したことに驚嘆。事実、設計されたその空間には高低差や不整形を逆にとる工夫と遊びを見出す。遊びの精神は地上部に限らず、屋上にも垣間見ることができる。



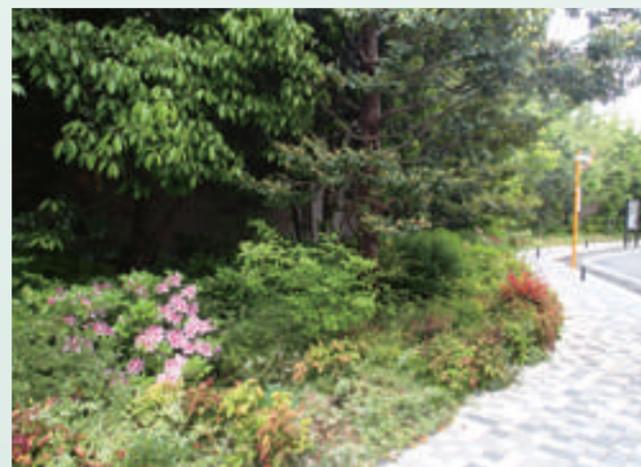
港区みどりの街づくり賞受賞施設

パークコート 青山ザタワー

- 事業主:三井不動産レジデンシャル株式会社
Iconique特定目的会社
- 設計者:株式会社大林組一級建築士事務所
- 施工者:株式会社大林組
- 所在地:南青山二丁目3番3号
- 施設用途:共同住宅
- 敷地面積:3,910.57㎡
- 緑化面積:1,826.13㎡
- 接道部緑化延長:210.08m
- 緑化面積率:47% ●接道部緑化率:81%

選定にあたっての評価コメント

都道319号線沿いに配置されたオブジェのような主要建物(26階)は、道路のカーブに合わせて優美な曲線を用いて建てられ、青山のランドマークたらしめるアート志向の作品だが、敷地周囲に対するきめ細かい配慮が見られる。主要道路沿いの切れ目ない植栽の工夫や、また周囲に設けられた他の歩道や広場空地も建物と一体的にデザインされ、かつ季節の花が楽しめるような豊富な植栽がそこには用意されている。



港区みどりの街づくり賞 審査会委員総評



千葉大学名誉教授
赤坂 信

地域貢献のすがた、
さまざま

今回、選定された5点は、規模は多様だが、どれも個性的だ。江戸来の土地の記憶を敷地の設計コンセプトに取り入れたもの、また幹線道路に面する対象地区を街のランドマークたらしめるアート志向の作品、建物を大樹(森林か)、その大樹の下を林床と見立てることで、その植栽や複雑な地形、高低差の処理に工夫を凝らしたものが見られた。中には構想から15年かけて完成した44階建てのタワーを含む大規模なものもある。そうかと思えば、小規模ながらその会社の出身地ゆかりの樹木が店舗前に植栽され、街角のチャームポイントとなっている事例がある。

このように選定されたものはじつに多種多様だ。同じ物差しでは比べられないものを私たちは審査しなければならなかった。しかし、要はどれだけ地域に貢献しているか、そこを歩く人を幸せな気持ちにしてくれる空間の提案がどのようになされているかを精査した結果が、以上の5点となったことを報告したい。



公益社団法人
観音崎自然博物館 前理事長
技術士(都市計画)

高橋 雅雄

壁面緑化に思う

都市化が進み、都市緑化が叫ばれるようになって今や久しいものがある。その中であって、立体的壁面に植物を這わせて、建物や都市空間の温暖化の緩和、都市景観の向上、野生生物への配慮等々の効果を狙った壁面緑化の事例は、徐々に珍しいものとは言えなくなった。かつて港区では「緑化協力員制度」があり、その一員だった筆者は、同数人と壁面緑化研究会を立ち上げ、事例検証などの活動が続けた。その際、港区浜松町二丁目の国道に面したMビル(昭和61年竣工)は、3~9階までの壁面緑化を先進的に注目をされた。3,5,7,9各階の外壁近くに植栽を設け、西日を避ける8種類のつる植物を植え込み、それが見事に繁茂し、ビル外壁に緑の垂れ幕模様が完成した。先日、その壁面緑化を見る機会があり、30年経過しても当初の狙いが健全であることに懐かしさと感動を覚え、改めて、先進的な施主の実行力に敬意を覚えたものだった。



港区景観アドバイザー
株式会社戸田芳樹風景計画
取締役 設計室長

大橋 尚美

管理目標を見据えた
緑化計画を

「赤坂インターシティAIR」は都心部で森の形成を試み、これからの育成管理において、さらに環境や目的に合致した緑の形成が図れるものと感じました。今後の育成管理の行為自体が街づくりそのものになるのではないかと思います。また不整形な敷地を活かした「G-BASE 田町」の緑化は、今見せたい樹木の大きさ、樹形を決めて植栽し、それを今後も維持して行くものと思います。「パークコート赤坂檜町ザタワー」は緑の使い方にメリハリがあり、人工的な緑・自然風な緑の形成が感じ取れました。受賞施設の緑にはそれぞれの管理目標が見て取れ、心地良さを感じました。都市の中での緑の創り方は様々です。自然樹形を利用して、自然風な林や森を再現したい。あるいは庭園のような景観の緑を創りたいなど、街づくりや建物の目的、使い方それぞれ違うものです。緑化は目標景観を考え、その目標に向けた生育管理を検討し、また誰がそれを担うのかも考えて欲しいものです。それらがセットで植栽計画であると考えます。



港区景観審議会委員
日本大学短期大学部
建築・生活デザイン学科 准教授
有限会社GAヤマザキ 取締役

山崎 誠子

個性的な緑の作り方は
港区から発信!

今回の受賞作品は建物用途に大きな違いがないにもかかわらず、緑の取り入れ方、緑の選び方、緑の配置の仕方がそれぞれ違って、個性的で視察がとても楽しく、多くの知見を得られました。視察のあとすぐに学生を連れて今回の受賞作を見学したぐらいです。港区は東京都23区の中で面積は12番目で、都市公園の面積の割合は平成30年4月1日時点で、23区中20番目と非常に低いのですが、普段港区内で目にする緑は意外に多く、その緑のほとんどは民間業者が開発設置したものです。自治体の公園と一緒に開発したものも多く見られます。緑化の義務があるからだけで作られている、土地が高いから付加価値がつけられやすいからと穿った見方をする人もいますが、それだけならあのように工夫する必要もないと思います。港区の緑地を作ることを面白がっている人や会社が多くいます。このみどりの街づくり賞を獲りたくてやっているわけでないと思いますが、結果、益々港区が魅力的になってしまいます。来年にも期待大です。



港区景観街づくり賞受賞施設

赤坂 インターシティ AIR

- 事業主: 赤坂一丁目地区市街地再開発組合 (事業協力者: 日鉄興和不動産株式会社)
- 設計者: 株式会社日本設計
- 施工者: 株式会社大林組
- 所在地: 赤坂一丁目8番1号
- 施設用途: 事務所、共同住宅、会議施設、店舗等
- 敷地面積: 16,088.32㎡ ● 高さ: 205.08m

審査委員コメント

①一部公共も協力して高木を内側に配して歩きやすい歩行者空間が出来上がっているのは、今後も増えていって欲しい試みです。素材も統一され、ゆったりした広さを感じさせています。テナントの集客にもつながるくつろぎ空間の提供、溜池の歴史も思い起こさせてくれる水のデザイン、近隣地区とも連動する桜並木など、季節毎に立ち寄ってみようかと思わせます。建物の形状、色等は新しいオフィス像とともに周辺への配慮も示しています。

②起伏を作り散策路を巡らした外構にはほどよい樹高の落葉樹と花木たち。浅く流れるせせらぎには野鳥が飛び交う。その中の低層の店舗や鐘楼かと思いがう排気塔の配置が心地よい。高層棟はルーバーの深さで表情を変え、高すぎる外観にリズムが生まれた。広大な面積の開発を江戸の地形を再生し、高速道路側に高層棟を配して低層部の豊かさを重視。サインやベンチ等にもこだわり、足もとに憩いと賑わいが生まれるよう、細やかでライフサイクルを見据えた「まち」が出現したことが嬉しい。



港区景観街づくり賞受賞施設

G-BASE 田町

- 事業主: 三井不動産株式会社、清水建設株式会社
- 設計者: 清水建設株式会社一級建築士事務所 (設計) 佐藤尚巳建築研究所 (デザイン監修) FIELD FOUR DESIGN OFFICE (インテリア・ランドスケープ)
- 施工者: 清水建設株式会社
- 所在地: 芝五丁目29番11号
- 施設用途: 事務所、店舗、駐車場
- 敷地面積: 2,331.34㎡ ● 高さ: 83.01m

審査委員コメント

①地域の新たなビルは、無機質な都市景観の中に有機的な生命力を与える建築ファサードデザインである。テナントも地域も元気になれるイメージである。第一京浜側のオープンスペースは陰影、浮遊感があり、そこに樹木や四季の草花もある心地よい緑化やベンチ、ハンモックなど、憩いと遊びの空間がある。複雑な敷地をうまく生かし、この敷地だからこそこの空間が面白い。三田通り側の建築の有機的な仕上げのリップや駐車場の元気なイラストは「楽しそう」と思わず声をかけたくなる建物である。

②不整形の敷地は第一京浜と三田通りの2本の幹線道路に面し、それぞれ個性的な顔で道行く人を惹き付ける。第一京浜側の緑地アプローチは少し登り坂。雑木林風の緑陰と心地良さそうなベンチで多彩な居場所が生まれ、魅力的なカフェを誘致した低層部につながる。三田通りに面した高層棟はそのテクスチャーとこだわりの小ぶりな路面店舗と駐車スペース奥の壁画アートでまちに賑わいを生み出す。容積率を増すボーナスをもらわずに、この敷地の特性を十二分に活かした空間と景観を創り出した功績は大きい。





港区景観街づくり賞奨励賞受賞施設

パークコート 青山ザタワー

- 事業主: 三井不動産レジデンシャル株式会社
Iconique特定目的会社
- 設計者: 株式会社大林組一級建築士事務所
- 施工者: 株式会社大林組
- 所在地: 南青山二丁目3番3号
- 施設用途: 共同住宅
- 敷地面積: 3,910.57㎡ ● 高さ: 99.73 m

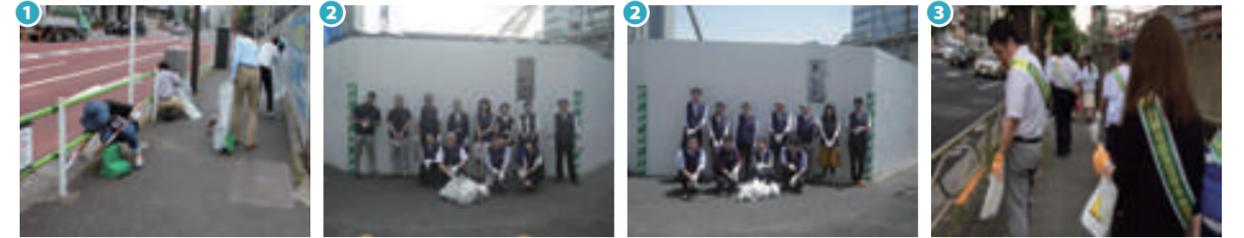
審査委員コメント

① 六本木から青山に向かう都道319号線のカーブに合わせるように、「フレア」をテーマにしたフォルムが新しいランドマークを予感させる。建造物を最も高く建築できる敷地を有効に使い、眺望とゆったりとした空間を同時に実現している。周辺環境に配慮した公園や、階段状のパスを用意し地域との融合を試みている点も良い。さらに分譲住宅でありながら商業施設のような、全面ガラス張りの外装が「青山」というブランド力をさりげなく主張している。

② 「AOYAMA FLARE」をキーワードに住宅はデザインされ、優雅さと気品の形態は都道319号線のカーブのアイストップになっている。曲線の外観はかなり特徴的であるが、地域の新たな魅力の顔である。建築の足元は石積とウエーブ状の植栽。複雑で重量感のある石積の形態に一瞬戸惑いを感じるが、通りから少し引いて見るとそのダイナミックなFLAREのデザインが生きている。できれば閉ざされたプライベート空間とパブリックな空間の間に段階的に地域となじむ、緩い空間が欲しかった。



港区景観街づくり賞 特別賞 受賞団体 港区アドプト・プログラムー道路・公園のボランティア活動



港区アドプト・プログラムとは

港区アドプト・プログラムは、地域の方々が道路・公園の維持管理(清掃や花壇管理等)を自主的に行う活動のことです。区民等が相互に協力し、地域の共有財産である道路・公園等の緑化活動や清掃等を行うことにより、道路・公園等への愛着心を深め、利用者のマナー向上と清潔で快適な街づくりの推進を目的として、平成14年度から実施しています。



今年度の受賞団体

今年度の受賞団体は、港区アドプト・プログラムで活動継続5年を経過した団体です。地域の皆さんが主体となった清掃・修景を行うことで、身近な景観街づくりに大きく貢献していただいています。区から感謝の意を込めて、特別賞として表彰します。

令和元年度景観街づくり賞特別賞受賞 アドプト登録団体 活動継続5年を経過(平成30年度末時点)した団体一覧

実施団体	場所種別	活動内容	地区
① エーソル株式会社	道路	清掃	芝
② 株式会社富士通総研	道路	清掃	芝
③ 旭紙業株式会社	道路	清掃	高輪
④ 株式会社フォーバル	道路	清掃	高輪
⑤ 第一設備工業株式会社	道路	清掃	芝浦港南
⑥ スターゼン株式会社	道路	清掃・花壇管理	芝浦港南

アドプト・プログラム問合せ アドプト・プログラムについて 各地区総合支所まちづくり課土木担当

各地区 電話番号	芝地区	麻布地区	赤坂地区
	03-3578-2032	03-5114-8803	03-5413-7015
	高輪地区 03-5422-7941	芝浦港南地区 03-6400-0032	

港区景観街づくり賞 審査会委員総評



港区景観審議会副会長
株式会社日本カラーデザイン研究所
シニアコンサルタント
杉山 朗子

港区内で計画されるプロジェクトでの景観への配慮は他の追随を許さないほど高レベルだと感じます。候補となった案件どれを見ても、建物のデザイン、外構計画、素材の質の良さ、周辺住民や在勤の方々への配慮など、お手本のような候補が並んで、溜息が出てしまうこともあります。今年は更に公共との協働などで使いやすい空間づくりが進んだように感じました。これからは公共側も積極的に関与して、周辺住民や通りかかった人も気持ちよく過ごせる空間や景観づくりに取り組んでいくようにしなければと感じさせてくれます。植栽のメンテナンスなどにも積極的に取り組むなど、継続して街に関わる姿勢が強まっているのもありがたいことです。景観の計画に時間軸がきちんと入ってきたといえるようになったことは、素晴らしい進展ではないでしょうか。



港区景観審議会区民委員
須佐 直人

大規模な公共エリアの再開発から、分譲マンションというプライベートな建造物までと、振り幅の広い候補が集まるなか、景観街づくり賞に選ばれた2施設はどちらも街との調和を考えながら、同時に造り手のこだわりも伝わってくる仕上がりでした。奨励賞は分譲マンションであるにも関わらず、地域の再開発を思わせる公共性が盛り込まれているだけでなく、建造物自体のこだわりが印象的でした。惜しくも賞には選ばれなかった候補についても、そこに住む人と周りの環境を十分に配慮したコンセプトで、港区と協力して「心地良い街づくり」を目指す努力の過程を知ることができました。港区内では様々な再開発が進んでおり、今後も高層ビルや低層マンションなどが増えていきます。住む人も地域の人にもやさしい街づくりが進められ、「住みやすい暮らしやすい港区」が実現することを願います。



港区景観アドバイザー
株式会社戸田芳樹風景計画
取締役 設計室長
大橋 尚美

今回も実に特徴的な事例が揃いました。森の中から湧き出したような建物。その周りの空地には誰もが利用できるベンチやテーブルがあり、地域の人々と共有することの楽しさを知らされます。そして、華麗なコンセプトでデザインされた建物もありました。その特徴的な建物のフォルムは新たな地域の風景としてこれから何十年も続きます。また、地域に楽しい風を吹かせ、これから地域に根を張るイメージの景観を持つ建物など、計画地域、建物の用途によってもその手法は様々ですが、やはり「良い」とされる建物や構造物は、その地域をしっかりと読み込み、そこにはブレない主張があります。その建物が地域には必要で、それができると街の価値が変わります。そこに住まう、働く人々が、健康で幸福感が得られる建物は、地域の人からも愛される場所になることと思います。

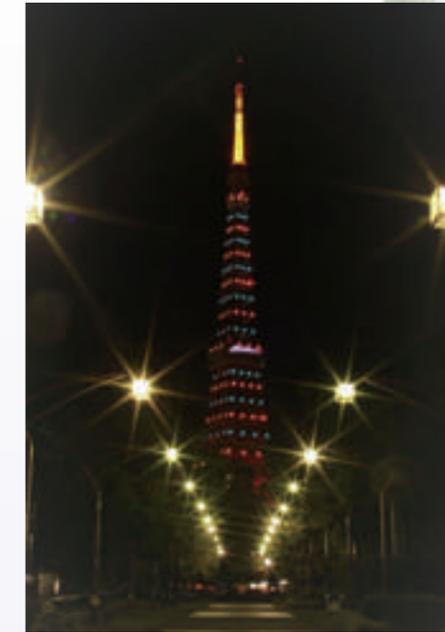


港区景観アドバイザー
藤野アトリエ一級建築士事務所 主宰
藤野 珠枝

都心港区での街区全体の再開発はそれなりの総工費をかけるので巨大な超高層ビルの出現とともに周辺が緑で覆われ、全体が立派にできて当然、という感がありますが、今回の景観街づくり賞を受賞した赤坂インターシティAIRは心地よい大きな緑地を生み出すことが目的であるかのような未来につながる豊かさや今後の周辺開発も追いついてくるであろう希望を感じるエリアとなったのではないのでしょうか。もうひとつの景観街づくり賞となったG-BASE田町は不整形の敷地をどう活かしたらまちに貢献でき、ここで働く方々も嬉しいかを考えに考えた労作で、共通点はまちの皆が喜ぶ多彩な居場所づくりかと。土地も建物も所有者だけではなく、まちの皆が喜ぶエリアとなるのが素晴らしい景観が生まれることにもつながり、建築の真骨頂なのではと感じた次第です。



(公財)東京都公園協会



港区区民景観セレクション グランプリ

御成門交差点付近から 見る東京タワー

テーマ：東京タワー

選定にあたっての評価コメント

港区民ではないので初めてこの場所を教えていただき、こんなにキチンとすがすがしく東京タワーを見ることができるなんて!と感動しました。朝見て気持ち良く、夜見てワクワクします。ドラマのロケにもよく使われるというのも納得です。意外に知らない人もいますのでもっとアピール出来たらと楽しみになりました。

応募者からの推薦コメント

- 光のコラボ。ここからの眺めは恋人たちを魅了する。
応募者氏名 加藤 裕之 (区内在勤)
- やっぱりここでしょう! 東京タワーを真正面に美しく見えるよう設計された公園。都市らしい。(匿名)



港区区民景観セレクション

増上寺と東京タワー

テーマ：東京タワー



選定にあたっての評価コメント

歴史的建物と東京・昭和のシンボル電波塔の組み合わせは現代版浮世絵の様です。これは唯一無二の区の誇るべき景観と言えます。何十年も見慣れた景色でも、そこに季節の花や緑、人の表情が加わると新たな景観の発見もあります。

応募者からの推薦コメント

- 雄大な寺と東京タワーの融合が何とも癒しである
応募者氏名 今井和昭 (区内在勤)
- 四季折々の表情と、日本らしさと、東京の象徴ともいえる東京タワーが眺められる。とくに春はそこに桜がプラスされ、とても贅沢な景色となる。(匿名)

港区区民景観セレクション

増上寺北側の通りから見る東京タワー

テーマ：東京タワー



選定にあたっての評価コメント

両側の木立の深い緑に縁取られた道路の正面にスクッと少し斜に立つ東京タワー。とても格好いい。この道を歩いたびにハッと、こんな素敵な東京タワーを初めてみつけたようにみとれて立ち止まり、惹き寄せられてしまう場所です。

応募者からの推薦コメント

- いつも増上寺横の道を通っていくが、外国人観光客も多い道である。道のカーブ、緑の木々と赤い東京タワーと空のブルーが映える。
応募者氏名 渡辺均 (区内在勤)

港区区民景観セレクション

レインボーブリッジから見る東京タワー

テーマ：東京タワー



選定にあたっての評価コメント

え、こんなところから?というようにビルに囲まれて立つ東京タワー。それも海の上からです。東京港に面した立地、オフィス街の中心地の一つというこの視点場は、港区の景観の多様性の魅力をよく伝えてくれています。

応募者からの推薦コメント

- 少し遠くから見てみると、そびえ立つ高層ビル群に負けず60年間もの間地域を見守ってきた東京タワーを発見できます。
応募者氏名 生田大樹 (区内在住)
- お台場側からレインボーブリッジの勇姿と共に東京タワーが脚元近くまで見えて、芝浦までの間、まちもタワーも見え方が変わって楽しいです。(匿名)

港区区民景観セレクション

考寿院へ向かう石段から見る東京タワー

テーマ：東京タワー



選定にあたっての評価コメント

地形に沿った階段を一歩一歩上がり、ふと気配を感じて振り返ると、そこにはわれらのまちの自慢の東京タワー君がこちらを見つめている。60年を経ても若々しい君と同じまちに暮らしていることを誇りに思う、嬉しい出会いの場所。

応募者からの推薦コメント

- 私の秘密スポットは、寺院の壁がある高台の、誰も気づかないような小さな路地から見る東京タワーです。この景色は他にないのではと思っています。多くの人が知らないであろう秘密のスポット。歴史を感じる街角から見る東京タワーはまた格別です。
応募者氏名 長岡吾朗 (区内在勤)

港区区民景観セレクション

品川シーズンテラスから見る東京タワー

テーマ：東京タワー



選定にあたっての評価コメント

昼はカナルの先に、夜はカナルの水面に東京タワーが映り込む。この場の位置、高さを生かした、季節、時間によって変化する人気の景観スポットです。東京のシンボルが港区にあり、毎日様々な角度から楽しめることに感動します。

応募者からの推薦コメント

- 夜景が綺麗。シンメトリー。
応募者氏名 加藤裕之 (区内在勤)
- 12月のイルミネーションと東京タワーが映える
応募者氏名 渡辺均 (区内在勤)

港区区民景観セレクション

区役所前の並木道

テーマ：通り



選定にあたっての評価コメント

クスノキの大木群を見ると都心とは思えないゆったり感に心が満たされます。都内の大名屋敷跡等には大木も多く残されていますが、道路沿いで気軽に歩ける場所は少ないでしょう。大切に伝えていってほしい景観です。

応募者からの推薦コメント

- 昔は街道の松並木であったと思うのですが、明治なり大正なりに今の並木に植え替えられて以降、大いに成長し、悠々と繁った風景が印象的です。やはり、この地には何か目に見えない大きな力が渦巻いているように感じます。
応募者氏名 堀田勉 (区内在勤)

港区区民景観セレクション

本氷川坂へ 向かう通り

テーマ：通り



選定にあたっての評価コメント

本氷川坂を登りきり、アメリカ大使館宿舎へと向かう70m程度の路地。氷川神社と昔はお屋敷だった敷地に挟まれており、両サイドを緑に囲まれた空間で、その佇まいはどこかで時間が止まったような雰囲気を感じさせる貴重な景観です。

応募者からの推薦コメント

港区の中心なのに、まるでどこかの別荘地にでもいるような自然あふれる街並み(道路)。大変貴重な景観だと思います。

応募者氏名 **長岡 吾朗** (区内在勤)

港区区民景観セレクション

桜田通り沿いの 明治学院大学

テーマ：ランドマーク



選定にあたっての評価コメント

高層マンションやオフィスビルが多い桜田通り沿いにおいて、国や港区の指定文化財が並ぶ明治学院大学一帯は、歴史を感じることができる建造物が立ち並び、地域のランドマークとして独特の佇まいとなっている。

応募者からの推薦コメント

・喧騒な国道1号線に沿って建つ中、ユニークな西洋式建物やチャペルが独特の穏やかな景観を醸し出しており、道行く人々の心をどこか癒してくれる趣がある。

応募者氏名 **麻生 良二** (区内在住)

・1916(大正5)年に建造されたこの礼拝堂は、その歴史的価値もさることながら、鋭角的な屋根と垂直に空に聳えるチャペル塔の直線的なフォルムと落ち着いた配色が大変美しい。是非大事に保存したい歴史的建造物である。

応募者氏名 **岡部 正実** (区内在住)

港区区民景観セレクション

芝浦アイランドの 船着場

テーマ：水辺



選定にあたっての評価コメント

芝浦アイランドにある船着場を中心とした、港区らしい水場の景観です。運河の水面近くに配置された遊歩道から、芝浦アイランド全体を見上げるように観ることで、水と建造物と空を独り占めできる貴重なスポットです。

応募者からの推薦コメント

倉庫街で殺風景なイメージのあった芝浦ですが現在はタワーマンションとレストラン・海上バスの船着場がありとても華やかな印象に変わりました。

応募者氏名 **久住 恵介** (区内在住)

港区景観審議会副会長
株式会社日本カラーデザイン研究所
シニアコンサルタント
杉山 朗子

新しい元号の初めの年に港区の区民が選ぶ景観のテーマが「東京タワー」となったのは偶然ですが、やはり輝く存在と言えましょう。遠くからも見える東京タワーですから、どこからが一番決められるものかどうか難しいでしょうが、王道の視点場が見えてきました。

今後、港区の顔の一押しとして伝えていってほしいものです。その他も改めて港区の歴史や地形を代表する景観が選ばれたと思います。今後も更なる魅力の発見が期待されます。

港区景観審議会区民委員

須佐 直人

区民景観セレクションも第三回で、満を持しての「東京タワー」。予想通りの景観や見たこともないような視点場が集まる中、「あの場所からの応募がない」と感じ、後日行ってみると高層マンションで完全に見えなくなっていました。こんな風に、日々の景色が変わっていく中での「区民景観セレクション」。

区内では再開発が進んでおり、いろいろな景観がなくなっています。こうした「失われていく景観」も、別ジャンルとして確立していくと、区民景観セレクションにも厚みが増して面白くなるのでは、と考えています。

港区景観アドバイザー
株式会社戸田芳樹風景計画
取締役 設計室長
大橋 尚美

このような場所から東京タワーが見えるのか・・・と実際に見てみると、面白い見え方や今まで気が付かなかった見え方など、出展の皆さんの情熱を感じました。掘り出し物の景観は日常から景観について関心をもって頂いている証拠だと思います。

区には歴史的景観も多くありますが、次々と新たな開発も進んでいます。オリンピックを契機に大きく異なる景観も出てくると思います。さらに魅力的な日常の景観の変化も見逃さないで欲しいものです。

港区景観アドバイザー
藤野アトリエ一級建築士事務所 主宰
藤野 珠枝

区民景観セレクション3年目のメインテーマは「東京タワー」。よそから帰って来る時に東京タワーが見えると「わがまちに戻ってきた」という嬉しさと安堵感がわくのが港区民の心ではないでしょうか。

応募は定番スポットとともに「私が見つけたとっておきの東京タワーです」という自慢の声が聞こえてきそうな視点場が満載で、「いい景観」と思えるものは「愛着」という要素が大切なのでは、と思い付き、納得しました。

過去の区民景観セレクション (東京タワーを含むもの)

平成29年度

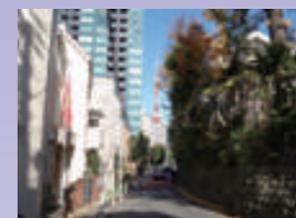


三田二丁目交差点からの
夕暮れの東京タワー

平成30年度



けやき坂のイルミネーション



神明坂から見る石垣と
東京タワー



旧台徳院靈廟惣門と東京タワー